



「千年希望の丘」に登り説明を受ける竹谷さん（右から4人目）ら＝2日 宮城・岩沼市

森の防潮堤 実現を

竹谷さん 「千年希望の丘」視察

宮城・岩沼市

公明党の竹谷とし子参院議員は2日、宮城県岩沼市を訪れ、東日本大震災で発生した震災がれきを活用して造

成が進められている「千年希望の丘」を視察し、井口経明市長から説明を受けた。長田忠広市議と菊地忍・名取市議、佐藤アヤ・亘理町議が同行した。

同市の「千年希望の丘」計画は、沿岸部一

帯に高さ約10メートルの丘を15基と、丘と丘をつなぐ堤防を整備し、その上に植林をして、「森の防潮堤」を構築しようというもの。

一行は、このほど造成された第1号の丘を視察。体積の約6割が震災がれきでできた丘について、井口市長は「災害時には津波から市街地を守り、人々の避難場所となる」と説明するとともに、「震災犠牲者の鎮魂の場にもなる」と強調した。視察後、竹谷さんは「復興のシンボルになるだけでなく、これからの防災対策にとって大きな意味のある取り組み。計画の実現に向けて、しっかり応援していきたい」と話した。